

市会議案第 1 1 号

マイナ保険証への原則一本化を見直し、従来の健康保険証の存続等を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和 7 年 7 月 2 日提出

吹田市議会議員 山根 建人

同 柿原 真生

同 益田 洋平

同 玉井美樹子

同 竹村 博之

同 塩見みゆき

## マイナ保険証への原則一本化を見直し、従来の健康保険証の存続等を求める意見書（案）

政府は、従来の健康保険証を原則廃止することを決定し、昨年12月2日以降、健康保険証の新規発行を終了した。廃止後は、マイナンバーカードに健康保険証機能を持たせた「マイナ保険証」へ原則一本化されることとなった。

マイナ保険証を巡っては、全国保険医団体連合会が昨年8月から9月にかけて実施した調査において、回答のあった医療機関の約7割でマイナ保険証を用いたオンラインでの資格情報の確認等に関するトラブルがあったと回答するなど、問題が明らかとなっている。

さらに、発行から10年が経過したマイナンバーカードの有効期限切れや、マイナ保険証に搭載されている電子証明書の5年間の有効期限切れによるトラブルも多発しており、特に今後は、電子証明書の更新が必要となる件数が大幅に増加することから、トラブルの更なる増加が危惧される。

また、全国各地の弁護士会や医療関係団体などでは、マイナ保険証への原則一本化に反対し、従来の健康保険証の存続を求める趣旨の声明が発表されている。

こうした状況を踏まえると、国民が安心して医療を受け続けるためには、従来の健康保険証を存続させ、マイナ保険証と併用させることが必要不可欠である。

よって、本市議会は政府及び国会に対し、下記の事項に取り組むことを強く要望する。

### 記

- 1 従来の健康保険証を存続させること。
- 2 マイナ保険証の取得は、申請による任意の判断に基づくとの原則を明確にすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年7月 日

吹 田 市 議 会